

出雲地域の消費ニーズは

—アンケート調査の分析から(4)

浜村二彦・浜村建設マーケティング事業部長

「独身女性の消費」

月に1回以上外食は88%にも

「友人の紹介」利用が繁盛の近道

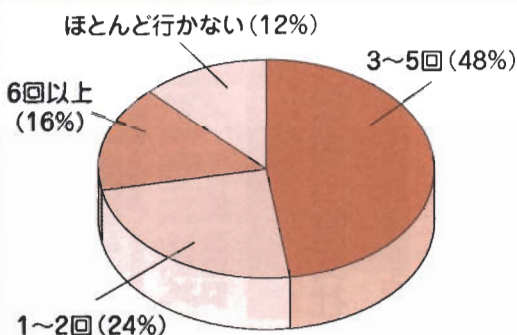
最近、独身女性などが「お一人様」と呼ばれているそうです。可処分所得が多く個人消費の主役級になっているからで、今回のアンケート調査からも、明確な願望をすぐに行動につなげる彼女たちの実態がうかがえます。

調査をした出雲の独身女性のうち、88%が月に1回以上、友人と外食に出かけています。「月に6回以上」も16%。友達との食事を楽しむことが生活の重要な要素になっているのが分かります。評判の飲食店があれば、出雲から松江、米子まで行く人という人は93%もいました。

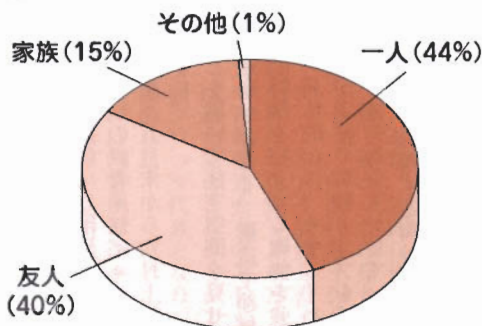
「外食の店をどのようにして知ったか」という問いに対しては、「友人等の紹介」が75%。既婚女性の場合、「友人の紹介」は59%でしたから、友人からの口コミ情報をより重視する姿が浮かび上がります。彼女らは頻繁に会ったり、メール交換などでものすごい速さで情報を伝達していますので、これを最大限に利用することが商売繁盛への近道だと思えます。

飲食店に求める要素は、「味」

月に何回外食に行くか



洋服を誰と買いに行くか



「値段」「雰囲気」などが挙がりました。「雰囲気」という項目は、独身女性以外では決して上位に上がってこない項目です。豊かな感性によって、店に入った瞬間、「いい感じ」「いやな感じ」と率直に判断するのでしょうか。

「出雲で気に入っている飲食店があるか」との質問には、55%しか回答がなく、具体的な店名も「どんぐりの背比べ」の状態でした。出雲には独身女性を満足させている飲食店が非常に少なく、あったとしても圧倒的な強者はいないのではないのでしょうか。

洋服の買物でも同様の傾向があります。「洋服はどこで買うか」との質問に対して、地元の出雲は45%になりました。これは地元にとって、消費の流出という大きな問題。鳥根県全体、山陰全体に置き換えてもよい事態だと思えます。

注目すべきは、それほど友人関係を大切にする彼女らが、洋服の買い物は「二人で行く」が44%で、「友人と行く」の40%を上回ったこと。これは既婚女性にも共通しますが、非常に興味深い現象だと思えました。単独で意欲的に消費を楽しむ彼女たちには、やはり大いに注目する必要があります。

以上、四回にわたってアンケート調査結果の考察をご紹介しましたが、購買心理をとらえる上で少しでもお役に立てたなら幸いです。繁盛店が核となって消費の連鎖が生まれ、地域の活力が創造されることを心から願います。(浜村建設・浜村二彦マーケティング事業部長) (おわり)